

個性を見る

トウヨシノボリ。腹びれが2つ
くっついて吸盤になっている



アイヌ語名は()内に

ヒゲ ドジョウによって本数が変わる



ドジョウ。ヒゲは10本



フクドジョウ (チチラカイ、レクシチュッポ)
ヒゲは6本

ドジョウの仲間にはヒゲがありますが、種類によって本数が異なります。

ドジョウは10本(5対)、フクドジョウは6本(3対)、エゾホトケドジョウは8本(4対)です。また、コイには4本(2対)のヒゲがあります。



エゾホトケドジョウ。ヒゲは8本

トゲ ギンブナにもある

トゲのある魚と言えばもちろんトゲウオの仲間です。背ビレ前のトゲで区別も付きます。イトヨには3~4本、イバラトミヨには8~10本、エゾトミヨには10~13本あります。またイバラトミヨに比べてエゾトミヨのトゲは短く、イバラトミヨが目の直径の60%以上であるのに対し、エゾトミヨは58%以下となります。

トゲウオ以外にもトゲをもつ魚がいます。ギンブナなどフナには背ビレ・尻ビレの前の縁にしっかりしたトゲがあります。



イバラトミヨ (トイロコム)
背ビレ前に8~10本のトゲがある

声・におい

川釣りをする人はよく知っていると思いますが、ウグイを釣り上げてつかむと「キュツキュツ」と「鳴き声」を上げます。

また、キュウリウオは特に産卵期になると青臭いにおいが強くなり、「キュウリ」という名の由来だともいわれます。アイヌ語でも「ヌイラ=強いにおい」などと呼ばれます。



ウグイ (スプンなど) つり上げると「鳴く」



キュウリウオ (ヌイラなど) 青臭い独特のにおい

参考文献

「日本産 魚類検索—全種の同定—」 中坊徹次 編 東海大学出版会 1993
「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」 川那部浩哉・水野信彦 編・監修 山と溪谷社 1989

「北海道の淡水魚」 稗田一俊 北海道新聞社 1984
「検索入門 川と湖の魚①」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1989
「検索入門 川と湖の魚②」 川那部浩哉・水野信彦 保育社 1990